

管内月間火山概況（令和元年 12 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

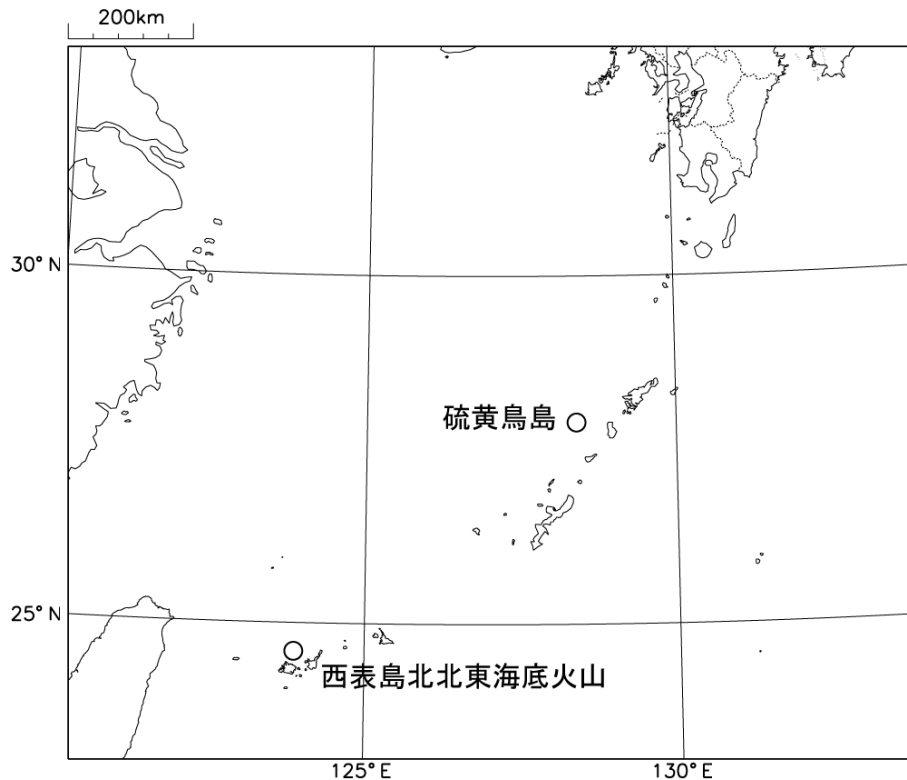
硫黄島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

17 日に実施した海上からの観測では、硫黄岳火口内から高さ約 300m の噴気を観測しました。グスク火山火口からは噴気は観測されませんでした。また、硫黄岳火口北北西の海岸付近で高さ約 10m 程度の新たな噴気を確認しました。硫黄岳火口の西側の海岸線に沿って黄緑色の変色水域を観測しました。風下側で強い硫化水素臭が感じられました。

硫黄岳火口北北西の海岸付近に新たな噴気を確認されたものの硫黄岳火口やグスク火口に特段の変化はみられませんでした。

西表島北北東海底火山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

次回の管内月間火山概況（令和 2 年 1 月分）は令和 2 年 2 月 10 日に発表する予定です。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。